

健康と光線

恐ろしい動脈硬化

動脈硬化は加齢に伴つて誰にでも見られますが、比較的太い動脈の管壁にコレステロールが沈着し、中膜から筋細胞が内膜に移動して増殖する粥状硬化の場合には、動脈壁が厚くなつて内腔が狭まると共に弾力性を失い、血液が十分に流れなくなります。ただし動脈硬化（以下、粥状硬化の意）の程度は、人により、また同一人でも、脳、心臓、腎臓、四肢など部位によつて異なるため、動脈の狭窄や閉塞に起因する血流障害に伴う症状が出てから病気として認識されることもあります。

動脈硬化は、動脈硬化的進行度と動脈のコレステロール含有量との間に密接な相関関係があることから、動脈硬化というとコレステロールを思い浮かべるほど、コレステロールは動脈硬化を促す悪玉として知られています。しかし動脈が硬化する、すなわち動脈が骨のように硬くなるのは骨から溶け出たカルシウムが沈着するからで、動脈のカルシウム含有量はコレステロール含有量と平行して増加します。これはカルシウムパラドックスが前号に記載した高血圧の発症に関連す

て歩けなくなる大腿動脈硬化症などですが、症状から動脈硬化化であり、動脈硬化がからんだ病気を合わせると死因の一位になる恐ろしい病気なのです。

カルシウムは動脈硬化の引き金

動脈硬化の進行度と動脈のコレステロール含有量との間に密接な相関関係があることから、動脈硬化というとコレステロールを思い浮かべるほど、コレステロールは動脈硬化を促す悪玉として知られています。しかし動脈が硬化する、すなわち動脈が骨のように硬くなるのは骨から溶け出たカルシウムが沈着するからで、動脈のカルシウム含有量はコレステロール含有量と平行して増加します。これはカルシウムパラドックスが前号に記載した高血圧の発症に関連す

るだけでなく、動脈硬化を促進する危険因子になることを示しています。

動脈硬化は動脈壁に血液中の成分が浸入することによって発症しますが、その引き金にカルシウムパラドックスが関わっていることが示唆されています。すなわちカルシウムパラドックスで動脈壁に入り込んだカルシウムが、動脈硬化を防ぐカルシウム拮抗剤

刺激になつて動脈硬化の進行を促す悪循環を起こします。なおカルシウムには壁細胞の増殖を促す作用や血小板を集めて血液凝固能を高める作用などもありますので、動脈管腔の狭小化や血栓形成を一層促進するように作用します。つまりカルシウムパラドックスが動脈硬化を発症させる要因になるというのです。

カルシウム拮抗剤の投与群ではカルシウム拮抗剤の投与の有無に関わらず差があります。この成績は動脈がコレステロールを取り込む際にカルシウムが関与することを示しています。

動脈硬化をどのようにとらえるか

—自然と共生して生きる その5—

サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

血管と共に老いる

老化と動脈硬化は切つても切れない関係にあるため、“血管と共に老いる”、といわれますが、老化が避けられないよう、動脈硬化の進行度（骨粗鬆症の重症度）と動脈硬化の進行度とが関連することが知られています。

老化と動脈硬化は切つても切れない関係にあるため、“血管と共に老いる”、といわれますが、老化が避けられないよう、動脈硬化を起こさないようになります。しかし動脈硬化を抑えたいと思うのは筆者とて同じです。その第一歩が、加えてカルシウムの細胞内への流入を抑え、降圧剤としても用いられてゐるカルシウム拮抗剤に動脈硬化を予防し、その進行を遅らせることです。このようにして

ます。

すなわち実験的に大量のコレステロールを与えて動脈硬化症を作成する際に、カルシウム拮抗剤を投与してカルシウムの流れを抑制した群と投与しないで放置した対照群とで動脈のコレステロール含有量を比べると、投与群で明らかに低く動脈硬化が抑えられます。普通食を与えた群ではカルシウム拮抗剤の投与の有無に関わらず差がありません。この成績は動脈がコレステロールを取り込む際にカルシウムが関与することを示しています。

ステロール含有量を比べると、投与群で明らかに低く動脈硬化が抑えられます。普通食を与えた群ではカルシウム拮抗剤の投与の有無に関わらず差がありません。この成績は動脈がコレステロールを取り込む際にカルシウムが関与することを示しています。

ステロール含有量を比べると、投与群で明らかに低く動脈硬化が抑えられます。普通食を与えた群ではカルシウム拮抗剤の投与の有無に関わらず差がありません。この成績は動脈がコレステロールを取り込む際にカルシウムが関与することを示しています。



脱穀

宇都宮義真撮影



身体を動かそう

品物や機械は、古くなるほどが、一度こわれた物を元通りに直すのは不可能に近い。そのため品物や機械を長持ちさせるには、日頃から大事に扱い、手入れを怠ってはならない。

人間の身体も同様で、どんなに丈夫な人も年をとると段々弱くなり、容易に病気になるが治すのは簡単でない。しかし適切な手入れ、即ち悪い生活習慣を断ち理にかなった養生を怠らなければ、健康長寿も夢でないのですが、人間が品物や機械と異なる点は、人間は古くなるほど動かないところわれ易くなることである。無論、適当な休息は必要であるが、中年を過ぎたら意識的に身体を動かして身体機能を退化させないようにしなければならない。それで寿命の五年や十年は伸びせるのである。

季節の変わり目は要注意

中年を過ぎると、冬を迎える

このからの季節の変わり目は厄である。例年、この時期に高血圧合併症や心臓病などの循環器系の病気が増えるのは、急激な気温の低下に身体が順応できなかったためである。暖かい所から寒い所に行くと、皮膚が急に寒冷にさらされるために血圧が上昇する。冬の夜の便所通いが危険なものそのためであり、暖かい床から出て寒い便所に入るため血圧が急上昇し、脳出血や狭心症や心筋梗塞を起こすのである。また急に立ち上がりつたりするのもよくない。めまいがしたり目先が真っ暗になつたりする。

要は高齢になればなるほど、急激な気温の変化や体位の変更を避けることが大切で、寒い季節の暖房には気配りが必要である。

老化と成人病

老化に伴って、癌や動脈硬化のような成人病や感染症にかかり易くなるのは、これらの病気になります。ただし老化の進行程度は人によって異なるため、年の割に若く健康な人がいたり、老いて病院通いの絶えない人がいるのである。

中年以後の健康法

誰しも老化は避けられないが、少しでも進行を抑え、出来るごとなら成人病を予防したいと思つてゐる。成人病は老化と共に気付かぬうちに進行するので、予防には身体の健康に役立つことを積極的に取り入れ、抵抗力や防衛力を増強することは意義深い。

サナモアは老化予防の決め手

現代医学はとくに病気を対象に即効的効果を求める傾向があるが、長期にわたる体质の改善によつて病気を克服する、いわゆる Long-term Therapy (長期にわたる治療) に医療の新分野があることに着目して研究している人も少なくない。サナモア光線療法もこの目的で使用される。

宇都宮 義真

サナモアを日頃から健康法として使い続ければ、血液を浄化し、循環せしめ、新陳代謝を旺盛にして、細胞の機能を整える作用があるので、全身の機能を若返らせ、体质を改善する効果がある。それ故、若者のような元気を保つことが出来るのであり、老化を予防する決め手として欠くことができないものなのである。

「健康と光線」

昭和36年2月5日発行

一 中年以後の健康法 一

昭和37年10月5日発行

一 予防はできる 一

を要約した。

長年、サナモアを愛用している北九州市のF・Yさんは、四歳のこ子息の尋常性白斑の治療をしていて、「現代病には活性酸素が関与しており、紫外線で発生する活性酸素はアトピー性皮膚炎を悪化させる。PUV-A療法は紫外線、活性酸素、過酸化脂質、アトピー性皮膚炎の増悪の因果関係を無視した治療法で、紫外線量が過剰になると殺生力があるので組織を破壊に導く」という内容の本を読み、「皮膚科でいただく尋常性白斑のお薬には効くものが多く、原因はわからないとおっしゃるだけで、私にはもう頼るものはサナモアしかありません。けれども組織が破壊されるとしたら、私がやっている方法（ACかABで患部照射）は病気を悪化させないのでしょうか」と問い合わせてきました。

最近、活性酸素について解説した一般書が相次いで出版され、その中に紫外線で活性酸素が発生して皮膚障害を起こす、と書かれているため、サモアの愛用者から「一、三の問い合わせを受けました。仙台市のI・Tさんは、以前からサナモアをブドウ膜炎の治療で使っていますが、「紫外線が活性酸素を発生させるのは必至で、シミ、ソバカス、皮膚癌は活性酸素の仕業」と書かれた本を読み、「ブドウ膜炎は良くなっているのでこのまま続けたいが心配はないのか」と尋ねてきました。

エネルギーの生産過程で

生じる活性酵素

人間を含め好気性の生物は酸素がなければ生きられません。そのため酸素が悪いと思う人はいませんが、活性酸素は諸病の根源と思っている人はいるかも知れません。しかしこれははなはだしい誤解です。活性酸素には生体に欠かせない作用があるので。

て体内に入り、赤血球のヘモグロビンと結合して細胞まで運ばれ、細胞内に拡散によって入ります。そこでブドウ糖や脂肪からエネルギーを生産する細胞内小器官のミトコンドリアで酸化剤として働き、電子を受けて還元されますが、この過程ででき

る不対電子を持った酸素が活性酸素なのです。話が少し分かりづらいと思いますが、要は酸素をエネルギー源として利用する際に、酸素から活からこそエネルギー、優れた運動能り、優れた運動能と理解すれば十分な活性酸素の害と活性酸素は体される過程で生には活性酸素を ンヂャー、すな去系酵素が備わかし病的な状態の活性酸素が発

る不対電子を持つ
酸素が活性酸
素なのです。話
が少し分かりづ
らいと思います
が、要は酸素を
エネルギー源と
して利用する際
に、酸素から活性酸素ができる
からこそエネルギー効率が高ま
り、優れた運動能力を獲得した、
と理解すれば十分です。

上

活性酸素と紫外線

サンモア光線協会
サンモア中央診療所

医学博士 宇都宮

光明

もし生命現象が、ある種の原因によって、あらゆる現象が、日々繰り返しているものなのである。

チャ一か枯渴して両者のバランスがくずれてうまく処理できないと、重篤な組織障害をもたらすことが知られています。この分野で臨床的に最も重視されているのは、虚血・再灌流障害です。動脈が閉塞して血流がとだえると虚血性壞死を起しますが、血流が再灌流して酸素が供給されると大量の活性酸素を生じ、出血性壞死を起こすことがあるからです。しかも活

活性酸素の発生を少なくしようと、乳児に日光浴をさせないと考へて、歩くのを押さえつけてさせないといったら、健全な发育は望むべくもありません。これでは角を矯めて牛を殺すと同じことです。

この話は極端と言われるかも知れませんが、紫外線も、運動も、活性酸素も、生命にとって

(ビタミンEやベータカルロチンなど)を食事では補えないほど大量に健康食品で摂ることを勧めます。しかし健康食品がないと活性酸素の害を防げないほどひ弱な生物なら、とうの昔に滅亡しています。事実、あるゆる生物の体内に備わっている活性酸素の害を防ぐ仕組みと比べたら、健康食品など取るに足らぬものと知るべきです。

活性酸素を消去する治療法がないのも拘らず、血流の回復をはかるしかないのです。しかし通常の生活をしている健康な人なら、スカベンジャーで消去されため害をもたらすことはありません。

活性酸素から逃れたら

皮膚を失う

皮膚は生きています。したがって日焼けしたり、ビタミンDを生成したり、さまざまな光化学反応を起こしますが、その過程で活性酸素が発生するのは、動くと活性酸素が発生するのと同じで、あらゆる生命が日々繰り返している現象そのものなのです。

光明

もし生命現象

活性酸素の発生を少なくしようと/or>、乳児に日光浴をさせないとしたら、クル病になってしまいます。また這う、立つ、歩くのを抑えつけさせないとしたら、健全な発育は望むべくもありません。これでは角を矯めて牛を殺すと同じことで

必要不可欠なことを理解する一助にしてほしい、との願いがあるからです。

厳然たる自然の摂理

現存するあらゆる生命は自然の摂理に適応したからこそ生きられるのです。特にこれまでの地球の歴史の中で最大の出来事は酸素の発生ですが、好気性の生物は酸素の毒性を克服し、その恩恵をフルに使いこなして進化したから現在があるのです。

ご質問にあるように、人知の及ばない自然の摂理の一面を捉えて、興味本位に誇大に強調しつづけるのは万病の原因と決め付けるのは百害あって一利もありません。このように傲慢にも自然の摂理を否定するかのごとく論ずる昨今の風潮は苦々しい限りです。

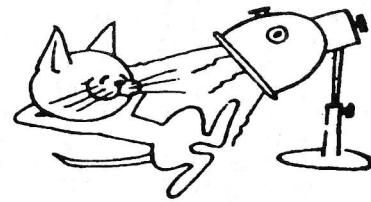
その上で活性酸素の害を防ぐスカベンジャーの代役になると、抗酸化作用のあるビタミン類（ビタミンEやベータカロチンなど）を食事では補えないほど大量に健康食品で撮ることを勧めます。しかし健康食品がないと活性酸素の害を防げないほどひ弱な生物なら、とうの昔に滅亡しています。事実、あるゆる生物の体内に備わっている活性酸素の害を防ぐ仕組みと比べたら、健康食品など取るに足らないものと知るべきです。

はこむら返りといわれ、原因はいた。病院の受付でこの話をしたら、整形外科に回され、レントゲン検査で変形性腰椎症と診断され、痛み止めと血行を良くする薬を出されたが、一週間たっても変わらなかつた。近所の診療所ではこむら返りといわれ、原因はいた。

中で目を覚ます回数が増え、睡眠不足に悩まされる日が続いたが、半年前、就寝中にふくらはぎの下の方に激痛が走り飛び起きた。触ると硬くなつて冷たい。それからは次第に痛みでい。その間に目を覚ます回数が増え、睡眠不足に悩まされる日が続いた。

症例 66歳 男性 教員

☆こむら返り?



—治験例報—

よく分からぬがカルシウム不足との説もあるので、ビタミンDとカルシウムを処方しておいた。また友人が大学病院で小児科医をしている弟に聞いてくれたが、動脈閉塞症の疑いもあると言つてたという。そんな時にサンモアを愛用している奥さんに勧められて来所した。身長172cm。体重75kg。

療法経過

足は冷たく皮膚は部分的に変色していた。Bカーポンで足裏、ふくらはぎに20分、A Bカーポンで足の甲、膝、腰、腹、背、後頭部に10分照射。なお禁煙するように強く勧めた。

三日目からふくらはぎがつる激痛はなくなり、一週間後には痛みで目が覚めるのが三日に一度

位になり非常に楽になつた。その後、就寝中に痛みを感じる回数は激減し、最近の一週間は一度も起こしていない。ただ膝の裏側がだるく寝つけない夜が二回あつたが、だるいところを三回照射すると直ぐ寝入つて朝まで熟睡できた。これからは辛かつた夜中の激痛がぶりかえさないように眞面目に光線照射を続けるといつて。

神戸市 ウエノ光線療所

上野 健太郎氏報告

TEL〇七八一三三二一三五八

☆左変形性股関節症

症例 79歳 女性
TEL〇七八一三三二一三五八

症例 25歳 女性
TEL〇七八一三三二一三五八

症例 25歳 女性
TEL〇七八一三三二一三五八

関節が痛く、左変形性股関節症と診断されたが、その際に骨密度を測定し、同年齢の女性の平均をはるかに下回る骨粗鬆症があるといわれた。そのため知人の紹介で来所したが、左側の腰から足首にかけて痛いと訴えて

三日前から左の腰や股関節が痛く、左変形性股関節症と診断されたが、その際に骨密度を測定し、同年齢の女性の平均をはるかに下回る骨粗鬆症があるといわれた。そのため知人の紹介で来所したが、左側の腰から足首にかけて痛いと訴えて

療法経過 カーポンはABとBDで、側臥位で腰、肛門30分、顔10分、膝、足首、左股関節15分、仰臥位で左右から肩10分、股関節20分、膝と足首内外から10分照射した。治療を続けるうちに痛みが薄らぎ立居振る舞いが楽になったので、当院の治療に自信をつけ喜んで治療を続け

サンモアカーポンの類似品にご注意下さい

サナモア A、B、C、D カーポンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」とともに愛用者各位の御信頼を頂き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことは、皆様方よくご存知の通りあります。ところが他社製カーポンに「光線療法学」をセツしたたり、サンモア A、B、C、D と効果が同じという根も葉もないうまい文句で互換表を添付して販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる行為をする者が何時も世にもいますが、当研究所としては他社製カーポンを使用した場合の効果について一切の責任はもてませんので、各自もご注意下さい。(サンモアカーポンには、製造元イビデン株式会社の商標「B」のマークが必ずついてます。)

東京光線療法研究所

示した。なお症例は親子一代の産婦人科で流産予防の注射をしても止まらないため妊娠の継続は保障しかねるといわれたが、

光線療法で出血は止められないか、と質問された。夫の話だけでは細部まで分からなかつたが、とりあえず自宅での照射法を指してほしいと頼まれ、当院の治療時間は長めにしたが、式後には痛みがなくて助かったと大変に喜ばれた。今は週に一回当院で治療し、後は自宅で治療をしていくが、元気に過ごしている。

た。その一年後に親戚の結婚式に出るので痛みが出ないようになってほしいと頼まれ、当院の治療時間は長めにしたが、式後には痛みがなくて助かったと大変に喜ばれた。今は週に一回当院で治療し、後は自宅で治療をしていくが、元気に過ごしている。

川崎市 東京光線治療院
海渡 一二三氏報告
TEL〇四四一七二二一五〇六七

痛み止めと血行を良くする薬を

いた。

いた。

の治療に自信をつけ喜んで治療を続け

いた。

血管の構造と機能

血液が管腔内を流れる管を血管といい、動脈、毛細血管、静脈に分類します。動脈と静脈の管壁は、外側から外膜、中膜、内膜(内皮細胞)の三層から構成されますが、毛細血管の管壁は

化、細小動脈硬化、中膜硬化に大別されますが、病変が進行するといふことは、血管腔が狭くなつて詰まつたり、血管壁が破れて出血します。動脈硬化の中でも最も注目されているのは、本紙の一面にも記載した粥硬化ですが、大動脈や太さが4mmほどの中等大的動脈（冠状動脈、脳動脈、腎動脈、大腿動脈など）の内壁にコレステロールを主体に血液成分がしみこんで沈着し、かゆ（粥）状のかたまり（粥腫またはアチロームという）を生じるため、管

動脈硬化の危険因子

危険因子とは病気を促進する要因のことですが、動脈硬化には共通の危険因子と種類によつて異なる危険因子があります。すべての動脈硬化に共通の危険因子としては、体質（遺伝）加齢（老化）、高血圧、糖尿病、食塩過剰摂取、喫煙、アルコール、ストレスなどがあげられてゐます。

現今の飽食の時代を反映して

と重労働が危険因子になります。すなわちかつての御飯と味噌汁と漬物というような一汁一菜の食事では、蛋白質が足りないので動脈壁を構成する細胞が弱くなり、脂質が足りないので細胞膜を形成するコレステロールが不足するため、動脈壁に壞死や動脈瘤を起こし、引いては血管の破綻を招くのです。

中膜硬化の最大の危険因子はこれまで随所で述べたカルシウムパラドックスです。

ところで近年の病気の変遷を

の汗。脳や肝臓が血管を構成する物質ですが、コレステロールは主に肝臓で合成され、生命現象を営む上で不可欠な物質ですが、高コレステロール血症が虚血性疾患の病因になる粥状硬化の危険因子としてこれほど有名になったのは、アメリカのフラミンガムで虚血性心疾患と血清総コレステロール値とが関連することが長年にわたる追跡調査で指摘されてからです。

虚血性疾患は予防できるのか

一動脈硬化をどのようにとらえるか・補遺一

サナモア光線協会 医学博士 宇都宮 光明

サナモア中央診療所

厚たでのだ

その内外に弾力性を保つ弹性線維（内弹性板、外弹性板）が発達しています。これに対し静脈の管壁は、平滑筋や弹性線維乏しいため薄くなります。

の細小動脈の平滑筋や弾性線維が侵され、血管が脆くなつて血圧に耐えられずにはれて出血するのです。

運動不足などがありますが、いずれも美味しいものを食べて動かないという生活習慣が背後にもたらめ、大きな関心を呼んでいます。

これに反し血管が破綻して出血する脳出血の病因として重視される細小動脈硬化は、低栄養で

る脂質には、コレステロール、中性脂肪、燐脂質、遊離脂肪酸の四種類があります。その中で虚血性疾患の誘因になる粥状硬化の危険因子として重視されているのは、コレステロールと中性脂肪ですが、飛び抜けて知られているのが血清総コレステロール

抗高脂血症薬の限界

動脈硬化の種類

ら、粥状硬

ますか 張状硬化や繊小動脈硬化の発生を促すとして注目され

血する脛出血の病因として重視される細小動脈硬化は、低栄養

性脂肪で、それが飛び散りて知られていているのが血清総コレステロ

（六ページにつづく）

高脂血症について

高脂血症は検査値の異常で診断する“検査病”で、成因には、コレステロール、

は 診
越えたら即座に告知して薬を処方する医師もいるため、近年患者数は激増しました。

抗高脂血症薬の限界

91

と重労働が危険因子になります
すなわちかつての御飯と味噌汁

一。——
血症です。

(五ページよりつづく)

220 mg/dl以上を高コレステロール血症とすると、成人病対象年齢層の約20%が該当し、その多くの人が薬の服用を強いるされています。そのため薬による治療が粥状硬化を予防する全でいますが、高コレステロール

血症は粥状硬化の多くの危険因子の一つでしかも、虚血性心疾患の治療で期待した成果には程遠いのが実情です。これは抗高脂血症薬の有効率が極めて低いためで、これまでに諸外国で行われた大規模な研究でも数パーセントに過ぎません。勿論、我が国でも虚血性心疾患の罹病率が明らかに低下したことを示すデーターはなく、生活習慣を無視しては無意味な投薬になりかねない、と指摘する専門家もいるほどです。

なお高コレステロール血症と診断される患者の約一割は、体质が遺伝する家族性高コレステロール血症です。本症は片親の場合で総コレステロール値は300 mg/dl以上、両親の場合だと総コレステロール値は500 mg/dl以上になることがあります、こ

のような症例を除いて、血清総コレステロール値が300 mg/dl以下なら、安易に副作用のある薬に頼るのではなく、食事療法や運動療法に光線療法を加えて治療して損はありません。生活习惯が根っこにある病気は、生活习惯を正してこそ効果が期待できるからです。

ところでフランシングムでの研究報告以降、コレステロールと虚血性心疾患の関連性についての研究は世界的に行われていますが、コレステロールについては量より質だとする説に移りつあります。すなわち動脈硬化を抑制する善玉のコレステロール（高比重リボ蛋白、HDL）と動脈硬化を促進する悪玉のコレステロール（低比重リボ蛋白、LDL）があることは半ば常識になっていますが、現在はLDLでも酸化された酸化LDLこそ悪玉の張本人とする見解が有力になっています。

虚血性疾患予防のポイント

硬化の危険因子を避ける生活习惯を身に付けなければなりません。すなわち高脂血症に伴う粥状硬化の危険因子には、食事や運動のように文明の恩恵とも言える利便性が密接に関わっていますので、現実に生活习惯を抑制するためには、各人が自己の生活习惯に責任を持つ必要があることも見逃してはなりません。しかし粥状硬化の進行を抑止するためには、各人が自己の生活习惯に責任を持つ必要があります。すなわち動脈硬化医師は指示に従うか否かを、素直に従うという意味の英語を借用して、「コンプライアンスの良否」といいますが、一般的な傾向として、治療薬のコンプライアンスは良いが生活面でのコンプライアンスは悪いのが普通です。しかし虚血性疾患、言い換えるなら粥状硬化を予防するのに、抗高脂血症薬の治療効率を過信して自身の生活习惯を過小に評価するとなったら、これ以上の思い違いはありません。殊に血清総コレステロール値が300 mg/dl以下なら、普段の生活习惯から直すことに主眼を置くべきなのです。

サンモア



サンモア 光線協会

趣意書

天地創造の昔から、眞の光、即ち太陽光線は、私たちに限りない恩恵を与えています。サンモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従つて、目に見える可視光線だけではなく、目には見えないが無くてはならない紫外線や赤外線を目的に感じて適切に放射しなければなりません。このサンモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙・普及活動を行うためサンモア光線協会を設立しました。サンモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サンモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。
入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

〔サナモア光線協会 TEL(03)3793-1528 三七二二一五三二二〕

(本紙の無断転用を禁止します。)